

2020年12月吉日

各医療機関長 様

埼玉県合同輸血療法委員会

代表世話人 石田 明

埼玉県合同輸血療法委員会・輸血業務検討小委員会

委員長 塚原 晃

「血液製剤使用状況アンケート調査」へのご協力・ご回答のお願い

埼玉県合同輸血療法委員会は、平成17年に厚生労働省から発出された通知に基づき、埼玉県・血液センター及び医療機関の代表者によって平成21年に設置された委員会です。これまで各種のアンケート調査と訪問勉強会、集合型輸血研修会などさまざまな活動を行ってきました。

さて今回、埼玉県内の廃棄血削減への活動に活かすため、埼玉県内医療機関の血液製剤使用量と廃棄血の実態についての調査を準備いたしました。

調査方法についてですが、貴院では今年、日本輸血・細胞治療学会が行っている厚生労働省委託事業「令和2年度血液製剤使用実態調査(輸血業務に関する総合調査)(赤血球、新鮮凍結血漿、血小板製剤の輸血量など調査)」に参加され、集計結果を学会宛に回答されたかと思えます。本調査では皆様のご負担を最小限にするため、この血液製剤使用実態調査の報告書コピーを送付していただいて解析したいと考えています。どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。また、血液製剤使用実態調査に参加されておられない医療機関におかれましても、この活動に賛同いただき同封のアンケート用紙にご記入・送付いただくと大変有難いです。

また、埼玉県合同輸血療法委員会では、輸血検査の質向上、血液製剤の廃棄血削減・適正使用推進などを目的とした「アドバイザー事業」も行っておりますので、是非ご活用ください。

この度のアンケート調査にはどうぞご支援宜しくお願い致します。
尚、連絡先等の情報に関しては、他の目的で二次利用することはありません。

【アンケート返送先・お問い合わせ先】

埼玉県赤十字血液センター 学術情報・供給課(埼玉県合同輸血療法委員会事務局)

TEL: 048-720-8006 FAX: 048-720-8016 E-mail; st-godoyuketsu@ktxs.bbc.jrc.or.jp

*埼玉県合同輸血療法委員会の設置目的は、埼玉県において「安全かつ適正な輸血療法」を推進することにあります。そのため、平成22年に「輸血業務検討小委員会」、そして平成23年には「自己血輸血小委員会」を設置し、それぞれの委員会でアンケート調査等を実施して県内施設での輸血医療の実態を把握するよう努めております。